

## <新型コロナウイルスの各種検査について>

### ■ 今、感染しているのかを知るための検査

渡航目的 / 症状は無い / 症状は軽いが心配 : 自費診療  
症状があり、医師が必要と判断する場合（濃厚接触者含む） : 保険診療  
(保険診療での検査費用は公費負担)

### ① PCR 検査

- 1) 迅速(結果:当日) 自費 25000 円 (院内検査) 鼻咽頭スワブのみ
- 2) 通常(結果:2日後) 自費 20000 円 (検査会社委託) 唾液 or 鼻咽頭スワブ

※ 再検査等が必要な場合 1 日程度遅れる場合がございます。

ウイルス遺伝子の一部を増やすことでウイルスが体内にいるかを判定する検査です。  
最も感度が高い方法です。

- ◆ 唾液 : プラスチックケースに唾液を 1-2ml 取ります  
飛沫リスク無く、安全に簡単に検体を採取できるメリットがあります。
- ◆ 鼻咽頭スワブ : 鼻やのどの奥の粘液を綿棒で擦ります。  
飛沫感染リスクがあるため、医師・看護師が感染防護対策の上、行います。  
迅速検査のご希望の方・唾液採取が難しい方(乳幼児など)が対象です。

### ② 抗原検査(定性) (1 時間) 自費 10000 円 (院内検査) 鼻咽頭スワブのみ 無症状者の陰性確認には感度的に不向き

鼻やのどの奥の粘液を綿棒でこする、インフルエンザの迅速検査と同じ方法です。  
検出感度が低いものの、有症状の方における PCR 検査との一致率は高い検査です。

### ③ 抗原定量検査 準備中

### ■ 過去に感染しているかの検査 : 抗体検査 (2 日) 自費 5000 円(検査会社委託)

ウイルス侵入後の免疫反応によって数日~2 週間程度で生成される抗体を検出する検査です。  
(※ 以前と検査方法が異なるため価格改定)

## <参考資料>

### 無症状者の唾液を用いたPCR検査等について

- 今般、都内において無症状者を対象に新型コロナウイルスにかかる検査を行ったところ、唾液を用いたPCR検査、LAMP検査及び抗原定量検査と、鼻咽頭ぬぐい液PCR検査を比較し、高い一致率を確認することができた。
- 厚生科学審議会感染症部会において、上記結果をもとに協議を行った結果を踏まえ、無症状者（空港検疫の対象者、濃厚接触者等）に対して唾液を用いたPCR検査、LAMP法検査及び抗原定量検査を活用することを可能とする。

検査の対象者		PCR検査（LAMP法含む）		抗原検査（定量）		抗原検査（簡易キット）	
		鼻咽頭	唾液	鼻咽頭	唾液	鼻咽頭	唾液
有症状者 (症状消退者含む)	発症から9日目以内	○	○	○	○	○ (※1)	× (※2)
	発症から10日目以降	○	×	○	×	△ (※3)	× (※2)
無症状者		○	<u>×→○ (7月17日~)</u>	○	<u>×→○ (7月17日~)</u>	× (※2)	× (※2)

※1：抗原検査（簡易キット）については、発症2日目から9日目以内

※2：検査メーカーにおいて有症状唾液については大学と共同研究中、無症状者については共同研究予定。

※3：使用可能だが、陰性の場合は鼻咽頭PCR検査を行う必要あり